

第3期

牧之原市子ども・子育て支援事業計画

〔 牧之原市次世代育成支援行動計画 〕

〔 牧之原市こどもの貧困対策計画 〕

(令和7年度～令和11年度)

1 計画策定の趣旨

本市においては、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とする「第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、【のびのびと子どもが育ち 今と未来と子育てを地域で支え合う まきのはら】を基本理念に掲げ、学校教育・保育やその他の子育て支援サービスの提供体制の整備を図り、こどもの健やかな育ちと保護者の子育てを地域全体で支援する環境の整備に取り組んできました。

このたび、令和6年度をもって計画期間が満了すること、また、子育て家庭における課題の多様化や支援に対する需要の高まりを受け、地域全体で子育てを支援する環境整備の指針として、新たに「第3期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」（以下、「本計画」という。）を策定します。

2 計画の位置付け

本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」として策定するとともに、「第3次牧之原市総合計画」や子ども・子育てに関連する分野の部門別計画との整合・連携を図ります。また、「次世代育成支援対策推進法」に基づく市町村行動計画および「こどもの貧困の解消に向けた対策の推進に関する法律」に基づく市町村計画を包含するものとします。

なお、本計画と、子ども・若者育成支援推進法に基づく「(仮称) 牧之原市こども・若者計画」(令和7年度中に策定を予定)を一体として、こども基本法に基づく「(仮称) 牧之原市こども計画」とすることといたします。

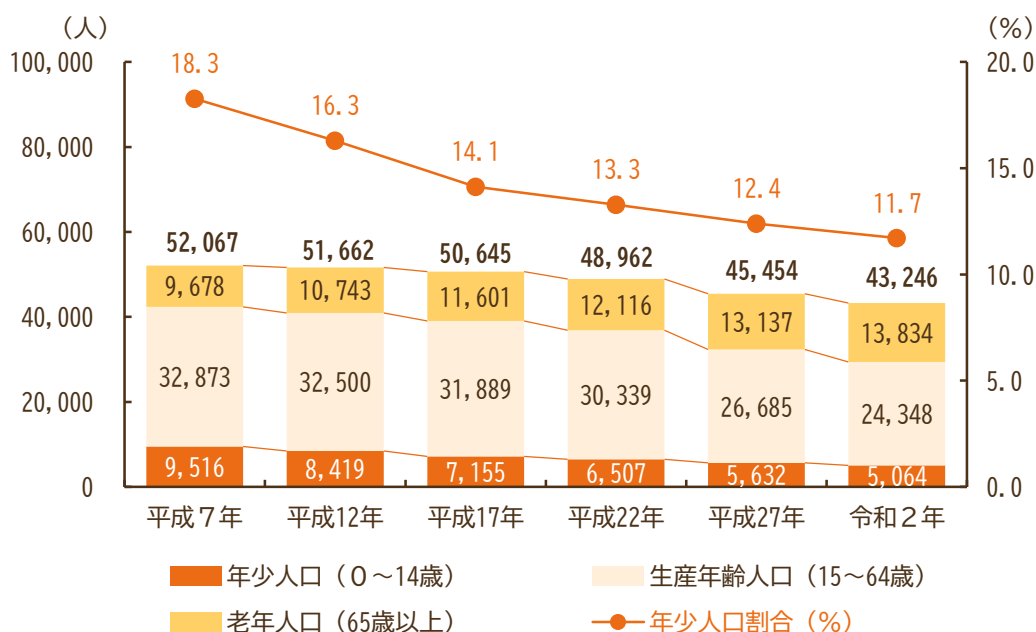
3 計画の期間

本計画は、第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画を引き継ぎ、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とします。

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
第2期計画	第3期子ども・子育て支援事業計画 (本計画)					次期計画 ※予定
	計画策定期間	(仮称) 牧之原市こども・若者計画				次期計画 ※予定
		(仮称) 牧之原市こども計画				次期計画 ※予定

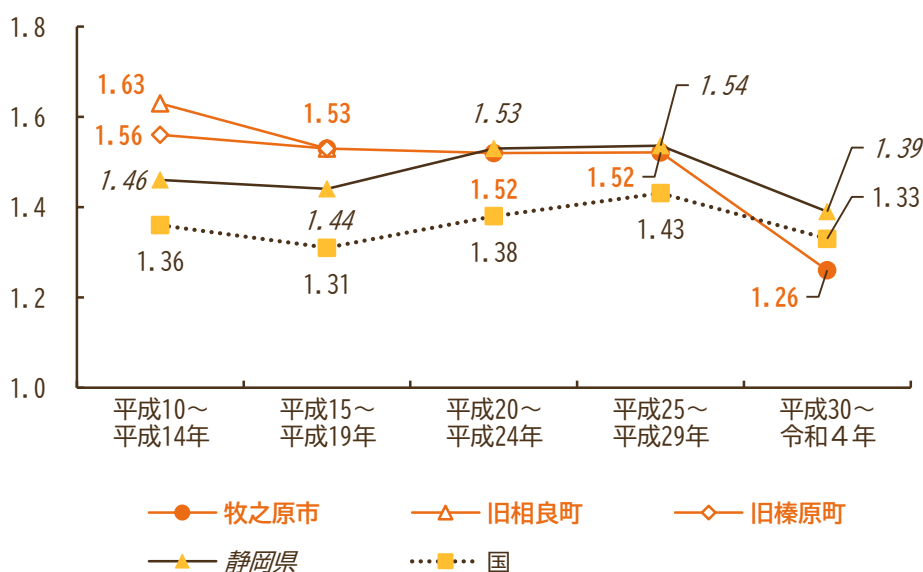
4 本市のこども・子育て環境を取り巻く現状

【年齢3区分別人口・年少人口割合の推移】



本市の年齢3区分別人口の推移をみると、平成7年以降、年少人口（0～14歳）・生産年齢人口（15～64歳）は減少傾向にあり、令和2年においては、年少人口（0～14歳）が5,064人、生産年齢人口（15～64歳）が24,348人で、年少人口割合は11.7%となっています。一方、老年人口（65歳以上）は増加傾向にあり、令和2年においては13,834人となっています。

【合計特殊出生率の推移】



本市の合計特殊出生率の推移をみると、平成15～19年以降おおむね県と同様の水準で推移していましたが、平成30年～令和4年は1.26と、国・県を下回る水準まで急減しています。

5 基本理念

国の「こども大綱」が目指している「こどもまんなか社会」は、こども・若者と子育て当事者をはじめとするすべての人にとって社会的価値が創造され、その幸福が高まることを最終的な目標としています。この目標を達成するために、こども・若者の権利を保障し、誰一人取り残さず、その健やかな成長を地域全体で後押しすることが、今後のこども・子育て施策において求められています。

「第2期牧之原市子ども・子育て支援事業計画」では、「のびのびと子どもが育ち 今と未来と子育てを 地域で支え合う まきのほら」を基本理念に掲げ、こども・子育て施策の推進を図ってきました。この基本理念に込められたメッセージは、「こどもまんなか社会」が目指す目標を実現するうえで求められている「こども・若者の健やかな成長を地域全体で後押しする」ことを体現したものであるといえます。

よって、本計画においても、この基本理念を引き継ぎ、こどもを産み育てやすいまちづくりを推進していくものとしします。

基本理念
のびのびと子どもが育ち 今と未来と子育てを
地域で支え合う まきのほら

6 基本目標

国や県の動向、本市の課題および方向性、アンケート調査結果、こども・子育てを取り巻く課題等を踏まえて、本計画においては5つの基本目標を設定し、多様なこども・子育て施策を展開していきます。

- 1 こどもの心身の健やかな成長を愛情をもって支える地域づくり
- 2 子育て世帯をあたたく見守り、安心してこどもを産み育てられる環境づくり
- 3 次代を切り拓く力を育む教育を展開する体制づくり
- 4 すべてのこどもを大切にし、安全・安心な生活を保障する環境づくり
- 5 すべてのこどもが生まれ育った環境にかかわらず明るい未来を描けるまちづくり
【牧之原市こどもの貧困対策計画】

基本目標1 こどもの心身の健やかな成長を愛情をもって支える地域づくり

- ・教育・保育事業および地域子ども・子育て支援事業の提供体制の充実に努め、こどもの養育環境の向上と子育て中の保護者の負担軽減を図ります。
- ・本市の教育・保育環境について、心身の豊かさを持ったこどもを育てるものとなるよう、ハード面とソフト面の双方における充実に努めます。

基本施策

- 1 教育・保育事業および地域子ども・子育て支援事業の充実
- 2 こどもを安心感で包み込む教育・保育環境の充実

基本目標2 子育て世帯をあたたく見守り、 安心してこどもを産み育てられる環境づくり

- ・妊娠・出産・子育てへと続く切れ目ない支援を提供し、誰もが安心してこどもを産み育てられる環境づくりを推進します。
- ・保護者が抱える子育てに関する悩みや不安を取り除くとともに、子育て世帯の孤立を防ぐため、地域における相談支援・情報提供体制の充実と地域全体で子育て世帯を支える取り組みの推進を図ります。

基本施策

- 1 安全・安心な出産と子育ての始まりに向けた妊産婦への支援
- 2 健康的なこどもを育てる体制の整備
- 3 子育てへの不安や負担感を軽減する支援体制の整備
- 4 地域全体でこども・子育て世帯を支える取り組みの推進
- 5 こどもや保護者が気軽に集える場所の充実
- 6 こどもの成長を支える安全・安心なまちづくり

基本目標3 次代を切り拓く力を育む教育を展開する体制づくり

- ・「牧之原市教育大綱」が基本理念に掲げる「こころざしを持ち、夢あるひとづくり」を目指し、学校では、「次代を切り拓く力」を育成する教育内容の充実を図ります。
- ・コミュニティ・スクールを活用し学校と地域が協同して、こどもが地域のひと・もの・ことから学ぶことのできる機会を創造します。
- ・個に応じた指導・支援を充実させるなど、こども一人ひとりを大切にした教育を充実させていきます。

基本施策

- 1 こどもの確かな学力と健全な心の育成
- 2 地域で学ぶことのできる多様な体験機会の充実
- 3 どんなこどもも取りこぼさない教育支援体制の整備

基本目標4 すべてのこどもを大切に、安全・安心な生活を保障する環境づくり

- ・障がいのあるこどもや発達に課題のあるこどもなどに対し、状況に応じた支援を提供していきます。
- ・児童虐待の防止・早期対応や近年の社会課題であるヤングケアラー支援等によるこどもの権利擁護を図ります。
- ・ひとり親家庭およびそのこどもに対し、自立につながる経済的支援・就労支援等を提供します。

基本施策

- 1 こどもの権利を保障する取り組みの充実
- 2 子育て世帯の経済的負担の軽減
- 3 ひとりで子育てをする保護者とこどもへの支援の充実
- 4 障がいのあるこどもとその保護者への支援の充実

基本目標5 すべてのこどもが生まれ育った環境にかかわらず明るい未来を描けるまちづくり【牧之原市こどもの貧困対策計画】

- ・「こどもの貧困対策」に向けて、配慮が必要なこどもや保護者に対し、関係機関が相互に連携を図りながら、相談対応の充実や各種負担の軽減等、それぞれの家庭が求める支援につなげる体制づくりを図っていきます。

基本施策

- 1 こどもの貧困に関する実態把握の推進
- 2 貧困世帯への生活支援の展開

8 量の見込みと確保の内容

本計画の根拠法である「子ども・子育て支援法」第60条で定められている、子ども・子育て支援のための施策を総合的に推進するための基本的な指針に基づき、教育・保育事業等の現在の利用状況および潜在的な利用ニーズを把握したうえで、提供区域を設定し、区域ごとの教育・保育事業および地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと提供体制の確保の内容および実施時期を設定しています。

教育・保育の量の見込みと確保の内容

区分		実績	推計	
		令和6年度	令和7年度	令和11年度
教育事業 【1号認定】	量の見込み【需要量】	270人	245人	210人
	確保の内容【供給量】	292人	292人	292人
保育事業 【2号認定】	量の見込み【需要量】	602人	543人	464人
	確保の内容【供給量】	621人	621人	621人
保育事業 【3号認定（0歳児）】	量の見込み【需要量】	70人	77人	69人
	確保の内容【供給量】	85人	85人	85人
	特定教育・保育施設	78人	78人	78人
	特定地域型保育事業	7人	7人	7人
保育事業 【3号認定（1歳児）】	量の見込み【需要量】	140人	121人	109人
	確保の内容【供給量】	156人	156人	156人
	特定教育・保育施設	149人	149人	149人
	特定地域型保育事業	7人	7人	7人
保育事業 【3号認定（2歳児）】	量の見込み【需要量】	170人	144人	147人
	確保の内容【供給量】	200人	200人	200人
	特定教育・保育施設	190人	190人	190人
	特定地域型保育事業	10人	10人	10人
3号認定の保育利用率			60.2%	62.0%

地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと確保の内容

区分		実績	推計	
		令和6年度	令和7年度	令和11年度
延長保育事業	量の見込み【需要量】	80人	75人	66人
	確保の内容【供給量】	80人	75人	66人
放課後児童健全育成事業	量の見込み【需要量】	459人	482人	403人
	確保の内容【供給量】	570人	570人	570人
子育て短期支援事業 （ショートステイ）	量の見込み【需要量】	0人日	23人日	23人日
	確保の内容【供給量】	23人日	23人日	23人日
地域子育て支援拠点事業 （地域子育て支援センター運営事業）	量の見込み【需要量】	11,487人回	10,729人回	9,512人回
	確保の内容【供給量】	11,487人回	10,729人回	9,512人回

区分		実績		推計	
		令和6年度	令和7年度	令和11年度	
一時預かり事業 ①幼稚園	量の見込み【需要量】	16,262 人日	14,636 人日	14,658 人日	
	確保の内容【供給量】	16,262 人日	14,636 人日	14,658 人日	
一時預かり事業 ②その他の施設	量の見込み【需要量】	1,017 人日	950 人日	842 人日	
	確保の内容【供給量】	1,017 人日	950 人日	842 人日	
病児・病後児保育事業	量の見込み【需要量】	1 箇所	1 箇所	1 箇所	
	確保の内容【供給量】	1 箇所	1 箇所	1 箇所	
子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業)	量の見込み【需要量】	273 人日	284 人日	327 人日	
	確保の内容【供給量】	273 人日	284 人日	327 人日	
利用者支援事業 (基本型・こども家庭センター型)	量の見込み【需要量】	1 箇所	1 箇所	1 箇所	
	確保の内容【供給量】	1 箇所	1 箇所	1 箇所	
妊婦健康診査事業	量の見込み【需要量】	3,500 回	2,562 回	2,310 回	
	確保の内容【供給量】	3,500 回	2,562 回	2,310 回	
乳児家庭全戸訪問事業	量の見込み【需要量】	245 人	183 人	165 人	
	確保の内容【供給量】	245 人	183 人	165 人	
養育支援訪問事業	量の見込み【需要量】	56 人	53 人	43 人	
	確保の内容【供給量】	56 人	53 人	43 人	
子育て世帯訪問支援事業	量の見込み【需要量】	29 人日	27 人日	22 人日	
	確保の内容【供給量】	29 人日	27 人日	22 人日	
児童育成支援拠点事業	量の見込み【需要量】		1,050 人	1,050 人	
	確保の内容【供給量】		1,050 人	1,050 人	
親子関係形成支援事業	量の見込み【需要量】	75 人	90 人	102 人	
	確保の内容【供給量】	75 人	90 人	102 人	
産後ケア事業	量の見込み【需要量】	90 人日	99 人日	89 人日	
	確保の内容【供給量】	90 人日	99 人日	89 人日	
妊婦等包括相談支援事業	量の見込み【需要量】	519 人回	549 人回	495 人回	
	確保の内容【供給量】	519 人回	549 人回	495 人回	
乳児等通園支援事業 (こども誰でも通園制度)	量の見込み【需要量】	0 歳		78 人 (令和8年度)	72 人
		1 歳		82 人 (令和8年度)	77 人
		2 歳		44 人 (令和8年度)	46 人
	確保の内容【供給量】	0 歳		88 人 (令和8年度)	88 人
		1 歳		88 人 (令和8年度)	88 人
		2 歳		53 人 (令和8年度)	53 人

9 数値目標

本市のこども・子育て施策の成果を測る指標として、「第3次牧之原市総合計画」における方向性等を踏まえ、以下の数値目標を設定します。

区分「アンケート調査」は、本計画策定にあたり実施したアンケートを指標としています。
区分欄に記載の①から⑥の表示は、次のアンケート調査結果に対応しています。

- ① 生活実態に関するアンケート調査（小学5年生対象）
- ② 生活実態に関するアンケート調査（中学2年生対象）
- ③ 生活実態に関するアンケート調査（小学5年生保護者対象）
- ④ 生活実態に関するアンケート調査（中学2年生保護者対象）
- ⑤ 子ども・子育て支援に関するアンケート（就学前児童保護者対象）
- ⑥ 子ども・子育て支援に関するアンケート（小学1～3年生保護者対象）

目標	区分	指標	現状値	目標値
			令和7年度	令和11年度
基本理念	アンケート調査 ①②	毎日の生活が楽しいと感じるこどもの割合	86.9%	91.9%以上 (+5.0%)
	アンケート調査 ③④⑤⑥	幸せだと感じる保護者の割合	82.6%	87.6%以上 (+5.0%)
1	取り組み	通常保育事業（保育・教育）	待機児童ゼロ	待機児童ゼロ
	アンケート調査 ⑤⑥	地域における子育ての環境や支援への保護者満足度 (10点満点評価の平均点)	4.96点	5.96点以上 (+1.00点)
2	アンケート調査 ③④⑤⑥	子育てについて不安や負担を感じる保護者の割合	52.5%	42.5%以下 (-10.0%)
	アンケート調査 ③④⑤⑥	地域ではこどもの安全が守られていると感じる保護者の割合	54.3%	64.3%以上 (+10.0%)
3	アンケート調査 ①②	将来の夢があるこどもの割合	53.8%	63.8%以上 (+10.0%)
	アンケート調査 ①②	努力すれば、できるようになると感じるこどもの割合	87.4%	92.4%以上 (+5.0%)
	アンケート調査 ①②	自分は誰かの役に立つことができると感じるこどもの割合	70.0%	80.0%以上 (+10.0%)
	アンケート調査 ①②	自分のことが好きだと感じるこどもの割合	62.8%	72.8%以上 (+10.0%)
4	アンケート調査 ①②	不安に感じることはないこどもの割合	49.1%	59.1%以上 (+10.0%)
	アンケート調査 ③④	家庭や学校に居場所がないこどもが安心して過ごせる居場所の提供の保護者認知度 (「知らない」の回答割合)	79.2%	69.2%以下 (-10.0%)
5	アンケート調査 ③④	長期休暇中の食糧支援の保護者認知度 (「知らない」の回答割合)	24.6%	19.6%以下 (-5.0%)
	アンケート調査 ③④	こども食堂の保護者認知度 (「知らない」の回答割合)	46.9%	36.9%以下 (-10.0%)

第3期牧之原市子ども・子育て支援事業計画
(牧之原市次世代育成支援行動計画 牧之原市こどもの貧困対策計画)

概要版

(令和7年度～令和11年度)

発行：牧之原市

企画・編集：牧之原市役所 子ども子育て課・福祉相談課

〒421-0422 静岡県牧之原市静波 991-1